

## 会 議 録

会議名 (審議会名等)	川西市民生委員推せん会		
事務局 (担当課)	健康福祉部 福祉推進室 福祉政策課 内線(2652)		
開催日時	平成25年1月25日(金) 15時00分～16時40分		
開催場所	川西市役所地下1階 B01会議室		
出席者	委員	進藤委員長・平岡委員・多久和委員・井上委員・細見委員・常岡委員 ・吉田委員・若松委員・根津委員	
	その他		
	事務局	福祉推進室 森下室長 福祉政策課 丸野課長 武富課長補佐 豊島主査	
傍聴の可否	可・不可・ <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由	個人情報に該当		
会議次第	1 開会 2 資料確認 3 議事 1. 民生委員・児童委員候補者の推薦について 2. 平成25年度民生委員・児童委員一斉改選の進め方について		
会議結果	民生委員・児童委員2名の推薦について承認される。		

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

## 審 議 経 過

No. 1

	<p>〔開会〕 〔資料確認〕</p>
委員長	<p>まず、議題1「民生委員児童委員候補者の推薦について」協議する。今回は、一斉改選未選出の区域担当民生委員・児童委員と辞任された補充に伴う候補者の推薦について協議する。この協議内容は個人情報に該当するので、非公開で進める。 今回推薦のあった民生委員・児童委員2名を適任としてよいか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>それでは、民生委員・児童委員2名を適任として兵庫県知事に推薦する。 次に、議題2「平成25年度民生委員・児童委員一斉改選の進め方について」協議する。ここからは、公開で進める。</p>
事務局	<p>次回一斉改選に向けてのスケジュール等を説明</p>
委員長	<p>事務局からの説明を受けて、質疑等ないか。</p>
委員	<p>民生委員・児童委員未補充地区10人の状況をどうとらえ、充足させるための努力はどうしているのか。</p>
事務局	<p>自治会長等を通じて推薦依頼をしているが、人材情報が無いなど推薦困難な場合は、民生委員・児童委員の地区会長協力のもと進めている。また、全く推薦者が出てこない地区については、区域割の見直しも含めて考えていきたい。</p>
委員	<p>川西市における民生委員・児童委員の現定数をどうとらえ、今後の方向性はど うするのか。</p>
事務局	<p>未補充地域が本当に区域として必要なのか再点検したうえで、必要最低限の増員を要求していく。</p>
委員	<p>民生委員・児童委員の費用弁償的意味合いのある補助金について、業務量増加に合わせてその額を見直す時期にきているのではないか。</p>
事務局	<p>川西市の補助金は、近隣市と比較しても中位程度にあり、他に増額できる要素もないため、据え置きで考えている。</p>

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

## 審 議 経 過

No. 2

委 員	民生委員・児童委員改選にあたり、新任70歳、再任75歳の年齢要件の基本的な考え方はどこからきているのか。市独自で設定できると聞いたことがあるが。
委員長	75歳は国で決まっており、新任の場合、川西市は県の方針に従って、70歳未満としている。前回の一斉改選時、市の推せん会において、70歳未満と決定した経緯がある。
事務局	法律上、75歳と明記されているものではない。国、県の方針として75歳となっており、それに準じて推せん会で市の方針として新任70歳、再任75歳としたものである。
委員長	民生委員・児童委員の仕事は多岐に渡り、制度の改正も多く最低2期くらいは務めて欲しいということもあり、新任70歳が設定されたそもそものいきさつである。
委 員	新任の年齢制限緩和について、推せん会として一定の結論を出してはどうか。
委員長	現時点で、県から今度の改選にあたり、年齢制限の具体的な提示があったのか。
事務局	4月の会議で示される予定である。
委員長	新任の場合、70歳を75歳に緩和すると、最初から1期で終わる代があり、判断が難しい。
委 員	70歳は、非常に適切な年齢だと思う。務めていただくのなら、最初から1期だけというのは避けるべきではないか。地区により事情もあろうが、継続を前提とした方が、推薦する立場としては選びやすい。
委 員	民生委員・児童委員の平均年齢が男性69.7歳、女性が64.7歳、各企業の定年延長により65歳となる中で、将来的なことを考えると年齢制限もそろそろ見直す時期にきているのではないか。
委 員	現在、自治会長からの推薦により民生委員・児童委員を選任しているが、自治会の会長が全て地元の状況に精通しているわけではないので、結果的に欠員につながっているのではないか。

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

## 審 議 経 過

No. 3

委員長	自治会長名での推薦となっているが、会長単独で選ぶのではなく、組織の中で選んで決めていただいているものである。
事務局	年度交代の自治会長が、地域の人材情報がなく選任が困難という場合は、地区の民児協会長のフォロー体制等で支援を図っていきたい。併せて、推せん準備会の必要性についても議論願いたい。
委員長	川西の推せん準備会は、平成13年から設置された。準備会有一些の、県下6市（川西市、三田市、豊岡市、三木市、淡路市、丹波市）のみで、それ以外は対応がバラバラである。
事務局	一斉改選に向けて、県内で6市が準備会を持っているが、その状況も動いており、資料等を集めたうえで再度検討願いたい。
委員	スケジュールを確認すると、県の一回目の説明会が4月27日、二回目が7月上旬となっているが、自治会への説明はそれ以降になるのか。
事務局	県の一回目の説明を受けて、5月の連休明けに推せん会を持ち、川西の方針、推薦方法等の確定を図る。協議において、自治会へ依頼することが決まればその段階で自治会長宛に文書依頼する予定である。また可能であれば、3月中に現自治会長宛に、今年12月に一斉改選がある旨の協力依頼文を発送したい。
委員長	事務局案どおり、3月中に現自治会長へ文書通知することとしてよいか。
委員	異議なし。
委員長	他にないか。 次回の推せん会はいつごろになるか。
事務局	5月中には必ず開催し、一回で方針が決まらなければ5月中に二回開催を予定している。 本日の協議を整理すると、定数については、現状の見直しと必要な増員の要求をしていく。年齢要件については、従前新任が70、再任が75であったのを新任も再任も75とするということによいか。

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

## 審 議 経 過

No. 4

委員長	年齢要件はいろいろ意見があったので、多数決で決めるのはどうか。
委員	年齢制限を緩和することで、欠員が埋まり、推薦しやすくなるのかどうか等については、判断材料が乏しく現段階では判断しかねる。事務局と委員長で個別協議のうえ、判断願いたい。欠員のまま置いておくのは好ましくないので、そこを埋められるのであれば、年齢緩和を視野に入れたらいかがか。
事務局	委員の意見から、年齢要件については事務局が委員長と個別協議のうえ判断することでよいか。
委員	異議なし。
委員長	他にないか。 以上を持って、本日の会議を終了する。